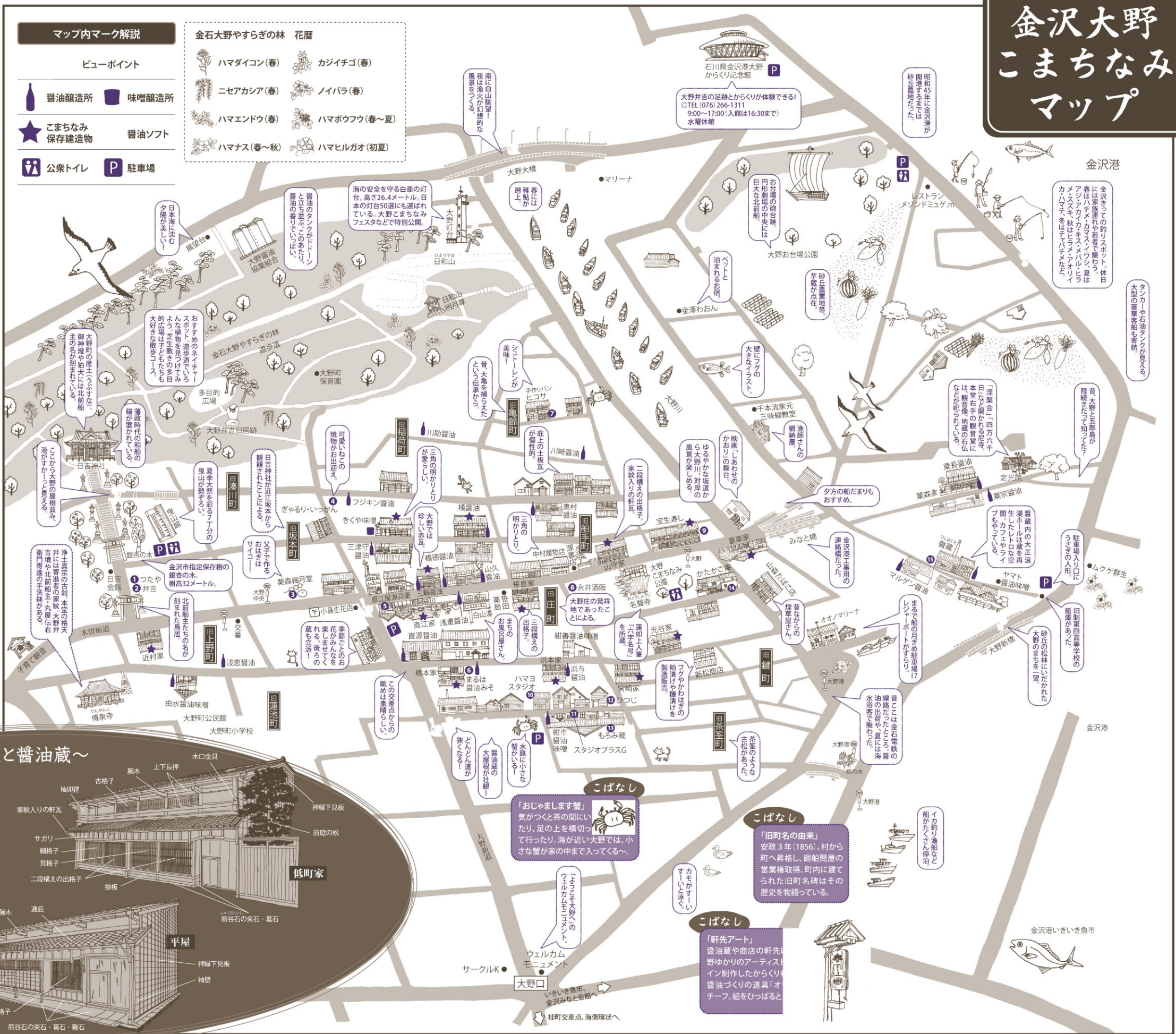
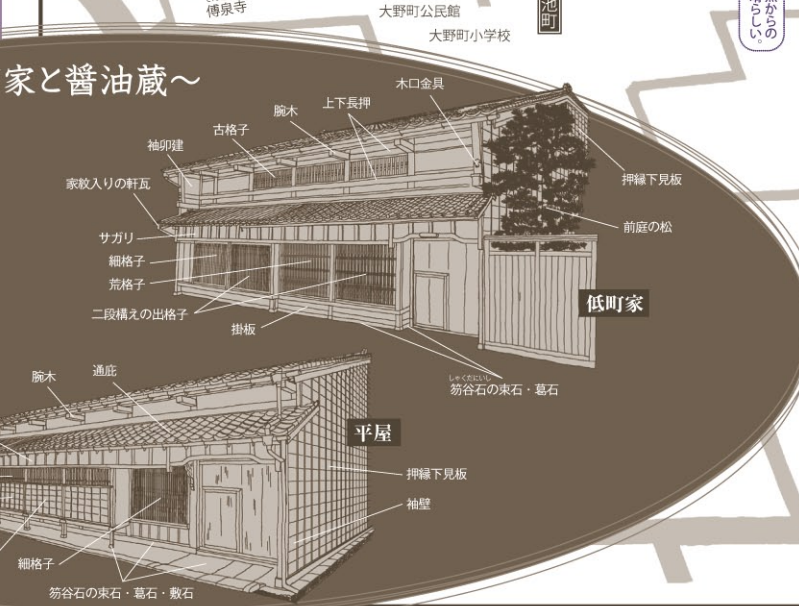
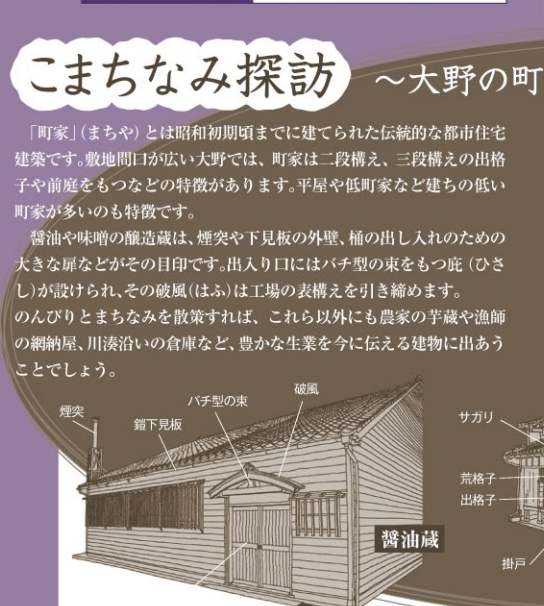


金沢大野 こまちなみ マップ



- ### ショップ&スポット情報
- #### 金沢大野でゆったり
- 1** 金沢観光、大野散策の拠点におすすめのお宿
1 ビジネスホテル つたや
【電】076-268-7886 【営】チェックイン15:00、アウト10:00
【休】無休 【P】有
 - 2** スワイガニの食べ放題コースが人気(要予約)
2 かにの居酒屋 弁吉
【電】076-268-9078 【営】17:00~23:00、ランチと土日祝は要予約 【休】無休 【P】有
 - 3** 大野の醤油&味噌スイーツが充実の和菓子屋さん
3 栗森梅月堂
【電】076-267-1373 【営】8:30~19:00
【休】月曜
 - 4** 陶芸教室&ギャラリー、陶芸体験もできる(要予約)
4 ぎやるり-いっかん
【電】076-268-0864
【営】ギャラリーは土日のみ(11:00~16:00)
 - 5** 直源醤油のアンテナショップ。醤油デザートも!
5 醤油処 直江屋源兵衛
【電】076-268-1300 【営】13:00~17:00、土日祝10:00~17:00
【休】火・水曜 【P】有
 - 6** 蔵元の町家でこだわりの醤油と味噌。ほん酢醤油も。
6 まるは醤油味噌
【電】076-268-2244 【営】9:00~17:00
【休】日曜、祝日、第2・第4土曜 【P】土日祝は有
 - 7** 町家のパン屋さん。懐かしくてやさしい味わい
7 手作りパン ヒコサ
【電】076-267-0350 【営】14:00~18:00
【休】水曜 【P】有
 - 8** こだわりの地酒を求めて遠方からも買いに来る
8 永井酒販
【電】076-267-1370 【営】11:00~22:00
【休】水曜
 - 9** 金沢港で水揚げされた新鮮な魚介を存分に!
9 宝生寿司
【電】076-267-0323 【営】11:00~22:00
【休】水曜 【P】有
 - 10** 洋画家・山下和子さんによる子ども絵画教室
10 ハマヨスタジオ
【電】090-8266-7490 【営】10:00~17:00
【休】土日のみ営業 【P】有
 - 11** ガラス工房&ギャラリー。トンボ玉作りができる
11 STUDIO plusG (スタジオプラスG)
【電】090-8266-7490 【営】10:00~17:00
【休】土日のみ営業 【P】有
 - 12** 季節の生ジュースとおばんざい、セレクト雑貨
12 CAFE&雑貨 ひつじ
【営】10:30~21:00
【休】水曜 【P】有
 - 13** 醤油蔵を再生。クラフト・雑貨・特産品も販売
13 キャラリー-茶論 もろみ蔵
【電】076-267-6638 【営】11:00~19:00、土10:00~19:00、日祝10:00~18:00 【休】水曜(祝日の場合営業) 【P】有
 - 14** アート感溢る骨董や古道具。しつとり教室も開催
14 金沢大野 かねかご庵
【電】076-267-5272 【営】10:00~18:00
【休】イベント時のみ開業 【P】有
 - 15** ヤマト醤油味噌のアンテナショップ。限定商品多数
15 醤油蔵 (ひしほくら)
【電】076-268-1248 【営】10:00~17:00
【休】水曜 【P】有
- 大野醤油がもっと美味しくなる話がいっぱい!
大野醤油醸造協業組合 <http://www3.ocn.ne.jp/~osu/>



こばなし

「おじゃまします蟹」
気がつくとも茶の間に入り、足の土を横切ったって行ったり。海に近い大野では、小さな蟹が家中まで入ってくる。

「旧町名の由来」
安政3年(1856)、村から町へ昇格し、廻船問屋の営業権取得。町内に建てられた旧町名碑はその歴史を物語っている。

「軒先アート」
醤油蔵や商店の軒先、野ゆかりのアーティスト、イン制作したからくり醤油つくりの道具「オチーフ」。紐をひくと...

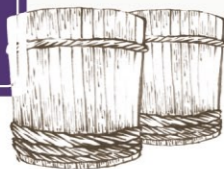


豊かな歴史と情緒あふれる
小さなまちを訪ねてみませんか。

どこか懐かしい、通りの風景

こまちなみ探訪

金沢大野



海の稼ぎで栄えた川湊の町

古来交易の大動脈であった日本海に面し、河口港に恵まれた大野。古くから港町として町場の賑わいを見せ、耕地が少ないこともあって海運業や漁業など海の稼ぎが盛んでした。江戸期から明治にかけては北前船の拠点として繁栄し、海商たちの居宅や船方の住居が軒を連ねました。その面影は、今も大野の町並みに見出すことができます。



「こまちなみ」をまちづくりに生かす



海と砂丘に抱かれた河口のまち・大野は豊かな環境文化に恵まれ、町家60棟と醸造蔵30棟が軒を連ね、30本の煙突が空にそびえています。町家13棟が金沢市こまちなみ保存建造物に登録され、醸造蔵や芋蔵はショップやアートスペースに再生。毎秋開催の大野こまちなみフェスタでは、これらの町家や蔵を舞台に、多彩な催しが行われます。

カタチの違いが面白い 醤油蔵の煙突

醤油づくりには大豆を蒸す、麦を炒る、生醤油への火入など多くの加熱工程があるため、醤油蔵には必ず煙突があります。煉瓦を積んだ四角いもの、丸い土管を鉄骨フレームで支えたものなど、そのカタチはさまざまです。



さあ、空を見上げて、煙突探しの旅へ！



大野醤油のラベル。金沢では蔵元や銘柄を「ご指名買い」する家庭も多い。

醤油

港町・大野は醤油のまち、醗酵のまち

元和年間、直江屋伊兵衛が紀州湯浅から醤油醸造法を伝え、大野は5大産地の一つに数えられる醤油のまちになりました。百万石の城下町・金沢を控え、材料移入の海運の便と、白山の伏流水に恵まれ、かつては60を超える蔵元がありました。現在も世帯数680あまりの小さなまちに24もの蔵元が軒を連ね、「しおもん」と呼ばれる魚の糠漬けや味噌、大根寿司など、豊かな醗酵の食文化を育てています。

醤油・味噌づくり施設を公開 蔵見学・体験

醤油・味噌づくり施設を公開しています。伝統の木桶から最新設備まで、大野の醸造文化を体感できます。醤油の味くらべや美味しい味噌汁づくり体験も。要予約。

- ◇直源醤油：醤油工場見学、醤油味くらべ TEL.076-268-1113
- ◇ヤマト醤油味噌：味噌蔵見学、味噌汁作り体験 TEL.076-268-1248



昔ながらの木桶でじっくり熟成。かつて町内には樽や桶を作る職人もいた。

ここだけのおすすめスポット！ アンテナショップ

大野へ来たら醤油蔵のアンテナショップへ。厳選された素材を丹念に仕込み、料理に応じてアレンジされた逸品がずらり。ダシやドレッシングなど、お料理のバリエーションが広がる便利な商品も多数。もちろん醤油スイーツも楽しめます。



テーブルや椅子は醤油樽を再利用。用器は直江屋伊兵衛。



醤油(ひしほくら)、醤油ソフトや醤油スイーツも楽しめる。

海とともに生きる男たちが 航海の無事を祈願 日吉神社

神社



天平5年(733)創始といわれ、江戸時代には歴代加賀藩主の崇敬を受けました。「板子一枚下は地獄」といわれる船乗りの世界で、北前船の船主たちは神仏への畏敬の念をこめて航海の安全を祈りました。その信仰心は今も受け継がれ、大野の人たちの心の拠りどころとなっています。

獅子舞と山王悪魔払い 日吉神社の祭礼と民俗芸能

7月第4土日に開催される日吉神社の例祭は、神輿行列と民俗芸能の奉納が一体となった壮大な夏祭り。幼児から長老衆まで町民総出の祭礼は、日曜夕方の「お練り」で最高潮に達します。奴行列、榊神輿、本神輿、山王悪魔払い、獅子舞が列をなし、神社までの道のりを2時間かけて行きつ戻りつ進む様は圧巻です。



山王悪魔払い、加賀獅子は金沢市無形民俗文化財。



大野検定 チャレンジ編

ヒントは「こまちなみ」の中にあります。歩いて楽しんで答を探してみませんか？

- Q1** 子育て観音にまつられている観音は何観音？
〈ヒント〉子育て観音へGO!
- Q2** 日吉神社の境内に御神燈は何基ある？
〈ヒント〉日吉神社へGO!
- Q3** 日吉会館には何基の曳山が展示されている？
〈ヒント〉日吉神社へGO!
- Q4** からくり師・大野弁吉はどこから婿入りしてきた？
〈ヒント〉石川県大野港からくり記念館へGO!
- Q5** 傳泉寺に御手洗鉢を寄進したのは誰？
〈ヒント〉傳泉寺へGO!
- Q6** お台場とは、もともと何のために造られた？
〈ヒント〉大野お台場公園へGO!
- Q7** 大野の名物・醤油ソフトは食べると何味がする？
〈ヒント〉もろみ蔵、醬蔵へGO!

●アクセス



再生 醤油蔵や茅蔵を再生して アートスペースやカフェに

製造工程の変化により遊休化していた醤油蔵が次々とギャラリーやスタジオ、カフェに生まれ変わりました。ゆったりとした時間が流れる、懐かしくて新しい不思議な空間です。思い思いのひと時をどうぞ。

ギャラリー&茶論



ギャラリーとカフェが融合したもろみ蔵は、レトロな空間が心地いい。醤油ソフトが名物。

ギャラリー



スタジオプラスGではガラス・陶芸・漆芸作品を展示販売。トンボ玉作りにチャレンジ!

CAFE&雑貨



ひつじでは蔵の中で、生ジュースやおばんざいが楽しめる。雑貨もユニークな品揃え。

絵画教室



ハマヨスタジオは洋画家のアトリエ。子ども向けの絵画教室も開催している。



ぎやるりいっかんのねこシリーズ



山本基さんの塩のアート

思わず通りすぎる？ 粗市醤油工場の醤油ピンアート

見る、買う、体験する アート&クラフトのまち

大野は知る人ぞ知る、アート&クラフトのまち。再生蔵のアートスペースに魅せられた多くの町外出身アーティストと地元出身アーティストが、ギャラリーやスタジオを構えています。体験メニューも絵画から、陶芸、ガラス造形と多彩。あなたも体験してみませんか。



陶板サイン、からくり看板、醤油ピンアート、塩のアートなど、楽しい発見が待っています。

先人



茶番ひん形

まちの礎を築いた先人たち

豊かな文化と富の蓄積をもたらした北前船、5大産地の一つに数えられるほど盛んな醤油醸造業、そして町内各所に伝わるからくり人形。今や大野を語る上で欠かせないこれらのモノ・コト。江戸時代の大野ではその礎を築いた先人たちが活躍していました。

大野の発展の基礎を築いた船主たち

大野船団 (おおのせんだん)

北前船の商いは「買積み」と呼ばれます。それは、船主が荷主を兼ね、津々浦々で積み入れと売払いを繰り返す、言わば「動く海の商社」。大野港を拠点とする大野船団は、北は北海道、東北から、西は下関を経由して大坂へ、東は江戸へと航路を駆け、大いなる富と豊かな文化を大野にもたらしました。丸屋や川端屋、浅黄屋など大野を代表する船主の名は、今も日吉神社の御神燈や鳥居に見ることができます。

希代の才人、芸術家にして科学者、エンジニア

大野弁吉 (1801~1870年)

絵画、彫刻に長じ、天文暦数、算術、医学、理化学に通じ、写真術、砲術、航海術を能くした、大野のレオナルド・ダ・ヴィンチとも言うべき希代の才人でした。享和元年(1801)、京都に生まれ長崎、対馬、紀州に遊学したのち、30歳で妻うたの故郷大野へ移住。大野のまちには弁吉のからくり人形が今も伝わっています。69歳で没するまで大野で暮らした弁吉は、大野・傳泉寺に眠ります。



砂丘の松林の中に建つ旧居跡の碑。



石川県大野港からくり記念館では弁吉の業績を紹介。多彩な分野にわたる発明品を展示している。



→舞鼓人形。手廻しオルゴール式で、人形が太鼓を打ち舞う。(個人蔵)

開炉裏の自在鉤。(個人蔵)

一振園山鉾模型。山鉾が走るにつれ台上の人形が舞う仕掛け。(個人蔵)

大野こまちなみ公園は北前船主として活躍した丸屋伝衛門の旧居跡。



船主たちが寄進した日吉神社の狛犬。



文久元年(1861)の大野を伝える「蓮湖真景園」(佐々木泉玄筆)、3枚からなる「蓮湖西岸之真景」には北前船が寄港する様子が描かれている。(金沢市指定文化財・個人蔵)